



修学旅行

朝早くから多くの先生方の温かい見送りを受けて神河町を出発です。初めて飛行機に乗る生徒も多く、離陸する際、ワッという歓声が上がりました。南国の沖縄・与論島への4泊5日の修学旅行の始まりです。



1日目 平和学習

事前の平和学習では、沖縄の歴史に加え、文化、風土、風習について学び、沖縄戦から米軍統治、本土復帰と現在に続く基地問題までを課題意識を持って考える時間を持ちました。



ひめゆり平和祈念資料館で奉納された千羽鶴の横を通り、資料館に展示された多くの当時の戦争の様子を伝える資料を見学する生徒の表情は真剣そのものでした。自分たちと同じ年代の若者たちが命を散らしたことに、戦争の悲惨さを痛感しました。講演会では新垣ゆき氏が民間人を巻き込んだ地上戦の悲惨さと現在の基地問題について多くの資料を提示しながらお話し下さいました。続いて生徒たちは10名程度のグループに分かれて討議を行いました。沖縄在住の方がグループに1人ずつ入り、司会進行、問題提起などを行って下さることに、基地問題について生徒一人ひとりが深く考え、自分の意見を言えるようになりました。心から現在の平和な生活のありがたさを実感できた時間でした。



2日目 与論島到着

今日は与論島に向け出発です。与論島は神崎高校の先輩たちも民泊を行ってきた島で、周囲約23kmの小さな島です。行政区画上は鹿児島県となりますが、沖縄本島からも23km程しか離れていないため、琉球文化の影響を色濃く受けている島でもあります。島の方々の温かい歓迎を受け、2泊3日の民泊がスタート！

マリン体験

各民家で昼食を取り、マリン体験に出発です。夕方から天気がまた下り坂に向かうということで、時間を繰り上げてマリン体験を行いました。青空も見え、明るい日差しに海面がきらめく中、シュノーケリング、バナナボート、シーカヤック、グラスボートの

班に分かれて体験開始。前日から午前中にかけて降った雨の影響で本来の透明度ではなかったものの、これぞ与論島という青い海で、存分にそれぞれの体



験を楽しみました。また、体験終了後、少し肌寒さはありましたが、仲間たちと水をかけあったり、記念写真を撮ったりときれいなビーチを満喫しました。

3日目 民泊体験

今日は丸一日、民家の人と生活を共にするという貴重な体験ができる日です。午前中はどのグループも民家で家業体験を行いました。さとうきびの収穫や出荷準備、豆類の収穫、茶葉の手もみなど普段の学校生活では経験することのない作業に活き活きと取り組めました。午後は少し天気も崩れ、時折、スコールのような激しい雨も降ったこともあり、作業を置いて、観光や魚釣りなどを行ったグループもありました。

ちょっと一言 ◇2年生の修学旅行では、「自主性を発揮する姿」「補いあっている姿」「折り合っている姿」が見えました。平和学習では、講師から投げかけられた「基地は必要だと思いますか」の問いに、「必要だと思います。」「必要ないと思います。」、その根拠は「国を守るため……と思うからです。」「憲法の条文に……。だから……と思います。」と、「世界の平和のためにあなたは何をしますか」という問いに対しても、自分の意見と理由を堂々と発表することができました。感動しました。事前の週間天気予報では全日雨でしたが、実際には肝心なところでは、まったく雨が降りませんでした。ひとえに保護者の皆様のご理解とご協力の賜物です。ありがとうございました。(N. A.)